

●新NISAの特徴

①非課税枠利用の自由化

…積立投資枠（年最大120万円）と成長投資枠（年最大240万円）を、同時並行的に利用していくことができる

②非課税枠の恒久化

…期限を気にすることなく、非課税枠をお客様一人ひとりが自分のペースで積み上げていくことができる

(出所) 筆者作成

ていくことができるのだ。そもそも、仮に金融資産が全体で3000万円ほどあるお客様であっても、預金とのバランスを考えたとき、非課税投資限度額1800万円を満額使った投資は行わないのが大半だろう。新NISAの非課税の総枠は、多くのお客様にとって相当に大きな規模だといえるのだ。お客様自身のペースと投資

への考え方に合わせて、じっくりと腰を据えて新NISAを利用してもらうため、金融機関はアドバイザーやサポートをすることが重要な役割だといえる。新NISAでは、商品ライナップについても、現行NISAと比べて大きな変化がある。これまでの一般NISA Aでは投資ができた毎月決算型ファンドが、新NISAの成長投資枠では対象外とされたのだ。多くの毎月決算型ファンドは、分配金の支払い負担があるため、基準価格の下落傾向が避けられない。そのため、長期的な資産形成には向きな商品なのである。こうした状況もあり、新NISAの対象商品から毎月決算型ファンドは外れたわけだ

新NISAでは毎月決算型は対象外に

が、毎月の分配金によるキャッシュフローの形成には根強い人気がある。NISAで毎月決算型ファンドが購入できるとことにメリットを感じていただくお客様も少なくない。こうした顧客ニーズを踏まえ、現在、各ファンド会社が代替商品として、新NISAの対象商品となった毎月決算型などの導入準備を進めているところだ。ただ、毎月決算型であれば、違う商品を組み合わせることで、実質的に分配金を毎月受け取る形にすることができてしまうだろう。お客様に対しては、分配金ありきではなく、キャッシュフローとファンド価格のトータルリターンを踏まえた商品選択を促すなど、投資の基本的な考え方を改めて説明していくことを心がけたい。

一方、積立投資枠の商品ライナップについては大きな変更はない。従来よりも取扱

POINT

- 新NISAの大きな特徴は、非課税枠利用の自由化と非課税枠の恒久化
- 分配金ありきではなく、キャッシュフローとファンド価格のトータルリターンを踏まえた商品選択をアドバイス

商品を増やす金融機関は少ないが、相当に低い購入手数料・信託報酬、分配金を出さずに中期での基準価格上昇を目指すなど、基本的なコンセプトは同様だ。ただし、非課税枠の拡充によって、新NISAでは毎月の積立可能額が最大10万円まで引き上がるため、一人ひとりのお客様に対して、新NISAに移行後は「どれくらい積立額とするか」「商品を選択するかなどを複数確認していく必要がある。

ここを押さえておきたい

# 新NISAの特徴とスタートまでのスケジュール

木内清章 産業能率大学講師

新NISA制度のポイントと、来年1月までの活動スケジュールについて整理する。

## “1” 新NISA制度の特徴と商品ライナップ

来年1月からスタートする新NISA制度。その特徴を分かりやすく簡潔に総括すると、①非課税枠利用の自由化、②非課税枠の恒久化の2つに整理することができる。以下で詳しく確認していく。

①の「非課税枠利用の自由化」とは、新NISAでは積立投資枠（年最大120万円）と成長投資枠（年最大240万円）を、同時並行的に利用できるということである。つまり、現行NISAではつみたてNISA（年最大40万円）と一般NISA（年最大120万円）は、どちらか一方しか利用できなかった

ものが、新NISAでは2つの枠を同時に、好きなタイミングで利用できるようになるのだ。そのため、投資の選択肢が増え、利用しやすくなる

と期待されている。例えば「毎月5万円ずつをペースとして積立投資を行い、年に数回、株価が大きく下がったタイミングでスポット買付を行う」といった利用ができるようになる。さらに、非課税投資限度額も、新NISAでは1800万円まで（うち成長投資枠は1200万円まで）拡充される。この金額の範囲内で、お客様は希望や投資スタイルに合わせて、2つの非課税枠を併せて利用していくことができる。

### お客様の投資スタイルに合わせたサポートを

次に、②の「非課税枠の恒久化」とは、期限を気にすることなく、非課税枠を使用してお客様一人ひとりが自分のペースで資産を積み上げていけるといえることである。現行NISAの非課税期間には期限があるため、その期間内で非課税枠を使い切ろうとしたら、一般NISAの場合には年間100万円以上の投資を行う必要があった。しかし、特に若年層のお客様にとって、年間100万円の投資は難しい場合が多い。この点、新NISAでは非課税期間が無期限（非課税枠の恒久化）となるため、年間100万円といった金額を気にせず、お客様に合わせた無理のない金額で何十年もかけて、じっくり資産を積み上げ